

田中康夫の



128

万神殿の眼窓

全ての力が集中し、全ての力が
拡散するパンテオンのオクルスと
日本の天皇家は似ています。邪
な思惑で近づく輩は例外なく一炊
の夢・邯鄲の夢で潰え、自らはス

「万神殿はギリシア語で「全ての
神々」。特定の神を本尊とする神
殿や寺院と異なり、ジュピター、
ミネルヴァ、ヴィーナス、マーキ
ユリー、ネプチューン等のローマ
神を祀る汎神論的な時空です。

円堂＝ロトンダは直径43・2m。
半球型の円蓋＝ドームも高さ43・
2m。天井にはラテン語で目を意
味するオクルス＝眼窓なる符牒で
呼ばれる開口部が設けられていま
す。天候が優れぬ日には、その明
かり窓から降り注ぐ雨雫で床の
大理石が濡れそぼります。

建築史に欠かせぬ存在なれど正
直、何の変哲も無き構造物は何故、
世界最古の建造物として現在も供
用に耐え得るのでしょうか？ 絶妙
な均衡を齎し、倒壊も損壊も免
れて今日に至る構造力学上の肝は、
円蓋の眼窓の存在です。

ティブル＝stable、即ちscini-
standableな復元力として屹立の
歴史を隠喩する点に於いて。

西暦128年にハドリアヌス皇
帝が建立したローマのパンテオン

★次号(2月号)の発行日は一月26日(金)です。

請に有り難くも応え、畏兄・宇澤
弘文翁は2年の歳月を費やし20
04年に「未来への提言」コモン
ズからはじまる、信州ルネッサン
ス革命」を脱稿下さいます。

遡って1983年、文化功労者
として昭和天皇に招かれた際の逸
話を。直前に進講したのは構造力
学の泰斗でした。「高層ビルは地
震の際に大きく揺れるらしいね」
と下問を受けるや得意満面に耐震
構造理論を披瀝。「でも上層階に
居ると矢張り怖いらしいよ」と更
に天皇は呟くも「絶対に安全でご
ざいます」。鰐膠も無い遣り取り
が続き、彼の番となります。

天皇制には少なからず批判的だ
った宇澤氏は、「ケインズは、新
古典派は、社会的共通資本は」と
上気して些か支離滅裂な開陳を行
うや途中で制され、「君、君は経
済、経済というが、人の心が大事
だと、そう言いたいのだね」との
指摘に虚を突かれます。

而して午餐の席から退席する天
皇は、「今日は(酒精好きな)宇
澤君のお陰で昼から大分、飲んで
しまったのお」と戯けた科白を吐
いたのです。隣席の入江相政侍従
長に「大した方ですなあ」と感歎

すると「宇澤さん、ここまで育て
るのに千年、二千年、掛かりました
よ」と、以前から二人が知己だっ
たればこそその諧謔に溢れた返答。
その入江氏の「宮中侍従物語」
に記されている、前々回の東京五

輪開催翌年の1965年、静養先
の那須御用邸から吹上御所に戻っ
た際、建物近くの雑草の刈り取り
を、気を利かして、宮内庁庭園課
に命じていた若き侍従職への苦言
ならぬ至言を再録します。

「どんな植物でもみな名前があつ
て、それぞれ自分の好きな場所で
生を営んでいる。人間の一方的な
考え方で、これを雑草として決め
付けてしまふのはいけない。注意
するように」。

樹木を伐り、路地を壊し、街並
みを一変させる相も変わらぬ、科
学を信じて・技術を疑わぬ、無計
画経済「再開発」が随所で進行す
る帝都の真ん真ん中に位置する千
代田区千代田1番1号の鬱蒼たる
「真空空地帯」。初詣は神社・婚礼は
教会・葬儀は寺院と融通無碍な多
神教ニッポンに於ける、科学を
用いて・技術を超える、スタビリ
ティとしての万神殿の眼窓の
心智です。